

様式1 第5次木更津市男女共同参画計画 事業評価表 令和5年度

連番	1	施策体系	基本目標 I - 主要課題1 - 施策1	課名	職員課
事業名	1-1-1 ①ワーク・ライフ・バランスの普及促進				
事業概要	ワーク・ライフ・バランスの充実を図るため、多様な働き方を選択できるテレワーク（在宅勤務）や時差出勤制度の利用促進に努めます。また、年次有給休暇の取得促進に努めます。				
R6年度 実施計画	年次有給休暇の取得促進に努めるとともに、テレワーク（在宅勤務）や時差出勤制度の周知により利用促進を図ります。特に、テレワークについては利用頻度が高くなった職員の支援策について、必要性を検討します。				
	評価	評価基準			
	A [80%以上]	年次有給休暇の平均取得日数16日を目標とします。			
	B+[60-79%]	年次有給休暇の平均取得日数15日を目標とします。			
	B [40-59%]	年次有給休暇の平均取得日数14日を目標とします。			
	B-[30-39%]	年次有給休暇の平均取得日数13日を目標とします。			
	C [30%未満]	年次有給休暇の平均取得日数12日を目標とします。			
R5年度 実施計画	引き続き、テレワーク（在宅勤務）や時差出勤制度の制度周知を行うとともに、利用促進を図ります。特に、時差出勤制度について、有効活用されるよう法整備を行い利用促進に努めます。				
R5年度 取組結果 及び成果	時差出勤制度について、利用範囲を拡充する内容で法整備を行い、利用促進のための周知を行いました。				
R5年度 実施結果	評価	評価基準			
	A [80%以上]	-			
	B+[60-79%]	-			
	B [40-59%]	-			
	B-[30-39%]	-			
	C [30%未満]	-			
	実施なし	-			
R5年度 1次評価	B	R5年度 2次評価	B	R5年度 最終評価	B
R5年度 課題や 改善点	今後も各制度の利用と各休暇の取得が行いやすい職場環境づくりの支援が必要と思われます。				

様式1 第5次木更津市男女共同参画計画 事業評価表 令和5年度

連番	2	施策体系	基本目標 I - 主要課題1 - 施策1	課名	職員課
事業名	1-1-1 ②育児休業の取得促進、普及・啓発				
事業概要	育児休業や出産、育児に関する休暇制度の周知を図るとともに、取得しやすい職場環境づくりに努めます。				
R6年度 実施計画	育児休業に関するアンケートを実施し、制度の理解度を確認するとともに、求められている事項を把握して、安心して育児に携われるような職場環境の醸成を図ります。				
	評価	評価基準			
	A [80%以上]	男性職員の育児休業の取得率 70%以上			
	B+[60-79%]	男性職員の育児休業の取得率 65%以上			
	B [40-59%]	男性職員の育児休業の取得率 60%以上			
	B-[30-39%]	男性職員の育児休業の取得率 55%以上			
	C [30%未満]	男性職員の育児休業の取得率 55%未満			
R5年度 実施計画	育児休業に関するアンケートを実施し、制度の理解度を図るとともに取得に際し、課題となっている事項を整理して育児に参加しやすい職場環境の醸成を図ります。				
R5年度 取組結果 及び成果	妊娠の判明した職員や配偶者が懐妊した職員に対し、活用可能な制度をワンストップで案内できる体制を取ることとしました。また、将来の出産・育児を考える職員に対しては、引き続き「妊娠・出産・育児と仕事の両立支援ハンドブック」を用いて各種制度を庁内に広く周知しております。				
R5年度 実施結果	評価	評価基準			
	A [80%以上]	-			
	B+[60-79%]	-			
	B [40-59%]	-			
	B-[30-39%]	-			
	C [30%未満]	-			
	実施なし	-			
R5年度 1次評価	B	R5年度 2次評価	B	R5年度 最終評価	B
R5年度 課題や 改善点	育児休業をはじめとする休暇制度については一定の認知がされてきております。定期的なハンドブックの見直しと周知を行っていきます。				

様式1 第5次木更津市男女共同参画計画 事業評価表 令和5年度

連番	5	施策体系	基本目標 I - 主要課題1 - 施策2	課名	農林水産課
事業名	1-1-2 ②女性の能力開発と経営参画の促進、各種セミナーの開催				
事業概要	<p>県が主催する女性向けの各種セミナー等への参加を促すとともに、農山漁村男女共同参画フォーラムへの参加を募り、経営への参画を推進するとともに、農業関係機関と連携を図りながら、家族経営協定や認定農業者制度の周知・普及に努め、女性認定農業者の認定を推進します。</p> <p>また、フォーラムの開催を通じて、男女共同参画の必要性・重要性についての理解が深まるようなテーマの設定に努めるとともに、周知や集客方法については、チラシ等の配付のほか、市公式HP等を活用し、多様な手段で開催の周知・集客の増加を目指します。</p>				
R6年度 実施計画	引き続き農業委員会事務局、君津農業事務所及びJ A木更津市との連携を密にして、情報を交換しながら女性向けセミナーへの参加を促進します。農業者巡回やセミナーを通して、認定農業者制度や家族経営協定の周知を図り、女性認定農業者の認定や家族経営協定の締結を推進します。				
	評価	評価基準			
	A [80%以上]	農業者巡回、セミナー等で家族経営協定・認定農業者制度の周知を行うほか、家族経営協定数・女性認定農業者数を合わせて4件以上増加させる。			
	B+[60-79%]	農業者巡回、セミナー等で家族経営協定・認定農業者制度の周知を行うほか、家族経営協定数・女性認定農業者数を合わせて3件以上増加させる。			
	B [40-59%]	農業者巡回、セミナー等で家族経営協定・認定農業者制度の周知を行うほか、家族経営協定数・女性認定農業者数を合わせて2件以上増加させる。			
	B-[30-39%]	農業者巡回、セミナー等で家族経営協定・認定農業者制度の周知を行うほか、家族経営協定数・女性認定農業者数を合わせて1件以上増加させる。			
	C [30%未満]	農業者巡回、セミナー等で家族経営協定・認定農業者制度の周知を行う。			
R5年度 実施計画	農業委員会事務局、君津農業事務所及びJ A木更津市との連携を密にして、情報を交換しながら認定農業者制度の周知を図り、女性認定農業者の認定を促進します。また、家族経営協定の周知、女性向けのセミナーへの参加を促進し、家族経営協定の締結を推進します。				
R5年度 取組結果 及び成果	令和5年度においては、女性向けセミナーへの参加を促進し、女性の認定新規就農者が1名増となりました。女性認定農業者数及び家族経営協定数については変化なく、女性認定農業者数は1名、家族経営協定数は17件となっております。				
R5年度 実施結果	評価	評価基準			
	A [80%以上]	-			
	B+[60-79%]	-			
	B [40-59%]	-			
	B-[30-39%]	-			
	C [30%未満]	-			
	実施なし	-			
R5年度 1次評価	B	R5年度 2次評価	B	R5年度 最終評価	B
R5年度 課題や 改善点	今後も、農業委員会事務局、君津農業事務所及びJ A木更津市と連携しながら、農業者巡回・セミナー等を通じて、積極的に女性認定農業者の認定及び家族経営協定の締結を促進してまいります。				

様式1 第5次木更津市男女共同参画計画 事業評価表 令和5年度

連番	6	施策体系	基本目標 I - 主要課題1 - 施策3	課名	職員課
事業名	1-1-3 ①職場におけるメンタルヘルス等健康管理の実施				
事業概要	健康診断、健康相談、健康教育の実施により、健康障害を未然に予防し、疾病による休業率の減少を促進します。また、作業環境管理として快適な職場環境を確保すること、衛生管理として長時間労働対策等により、職員の健康保持増進を図ります。				
R6年度 実施計画	心療内科医によるメンタル関連研修会または相談事業、安全衛生関連研修会及び衛生管理者資格取得のための研修派遣、ケースワーカー・消防職員を対象としたB型肝炎予防接種、職員の定期健康診断の実施及び消防職員で交代勤務をしている職員への深夜業従事者健診、改正労働安全衛生法に基づくストレスチェックを実施します。また、昨年度より実施している「メンタルヘルス相談事業」を継続していきます。				
	評価	評価基準			
	A [80%以上]	ストレスチェック受診者が対象職員の95%以上かつストレスチェックの集団分析結果が全国平均より10%以上健康リスクが低い			
	B+[60-79%]	ストレスチェック受診者が対象職員の95%以上かつストレスチェックの集団分析結果が全国平均より5%以上健康リスクが低い			
	B [40-59%]	ストレスチェック受診者が対象職員の90%以上かつストレスチェックの集団分析結果が全国平均より5%以上健康リスクが低い			
	B-[30-39%]	ストレスチェック受診者が対象職員の90%以上または ストレスチェックの集団分析結果が全国平均より5%以上健康リスクが高い			
	C [30%未満]	ストレスチェック受診者が対象職員の90%未満			
R5年度 実施計画	心療内科医によるメンタル関連研修会または相談事業、安全衛生関連研修会及び衛生管理者資格取得のための研修派遣、ケースワーカー・消防職員を対象としたB型肝炎予防接種、職員の定期健康診断の実施及び消防職員で交代勤務をしている職員への深夜業従事者健診、改正労働安全衛生法に基づくストレスチェックを実施します。また、「メンタルヘルス相談事業」を実施します。				
R5年度 取組結果 及び成果	ストレスチェックの集団分析結果は、市全体で見ると全国平均に比べ、ストレス具合が低いと判定されました。また、新規事業であるメンタルヘルス相談事業には9回(8人)の利用がありました。				
R5年度 実施結果	評価	評価基準			
	A [80%以上]	-			
	B+[60-79%]	-			
	B [40-59%]	-			
	B-[30-39%]	-			
	C [30%未満]	-			
	実施なし	-			
R5年度 1次評価	B	R5年度 2次評価	B	R5年度 最終評価	B
R5年度 課題や 改善点	復職後、再度休職してしまうケースがあり、継続したメンタルケア等の対策について検討していきます。				

様式1 第5次木更津市男女共同参画計画 事業評価表 令和5年度

連番	7	施策体系	基本目標 I - 主要課題1 - 施策3	課名	福祉相談課
事業名	1-1-3 ①職場におけるメンタルヘルス等健康管理の実施				
事業概要	関係事業者との連携により、就業者のメンタルヘルス等健康管理に関する相談に対応します。				
R6年度 実施計画	木更津市自殺対策計画に基づき、令和6年度は、心の健康に関する講演会を木更津商工会議所等を対象に実施します。				
	評価	評価基準			
	A [80%以上]	心の健康に関する講演会を開催し、参加者30名以上			
	B+[60-79%]	心の健康に関する講演会を開催し、参加者25名以上			
	B [40-59%]	心の健康に関する講演会を開催し、参加者20名以上			
	B-[30-39%]	心の健康に関する講演会を開催し、参加者20名未満			
	C [30%未満]	心の健康に関する講演会を開催できなかった			
R5年度 実施計画	困窮者相談を実施する中で、就労支援事業を活用して、要配慮者に対応した事業者等に繋ぎ、就労の機会が得られるよう努めます。				
R5年度 取組結果 及び成果	就業中の方のメンタルヘルス相談は、ほとんどない状況です。仕事を辞めた後に、生活の相談があった場合は、就労支援を行っております。メンタルの不調を抱えている方に対しては、働くことができるのかを含めて相談にのり、保健所や精神科、心療内科に繋ぐことができました。				
R5年度 実施結果	評価	評価基準			
	A [80%以上]	-			
	B+[60-79%]	-			
	B [40-59%]	-			
	B-[30-39%]	-			
	C [30%未満]	-			
	実施なし	-			
R5年度 1次評価	B	R5年度 2次評価	B	R5年度 最終評価	B
R5年度 課題や 改善点	就業者のメンタルヘルス等健康管理は、福祉相談課で答えられる内容がないので、目標や実施結果を記載することに苦慮しています。				

様式1 第5次木更津市男女共同参画計画 事業評価表 令和5年度

連番	8	施策体系	基本目標 I - 主要課題1 - 施策3	課名	健康推進課
事業名	1-1-3 ①職場におけるメンタルヘルス等健康管理の実施				
事業概要	心の健康を保持・増進するためには、個々に合った適切な休養と睡眠が必要であることを周知啓発していきます。また、心の健康に関する相談に応じるとともに、適切な相談窓口につなげます。				
R6年度 実施計画	睡眠の大切さに関する普及啓発資料を作成し、健康診査、健康相談、健康教育等にて活用すると共に市公式HP等にて「睡眠」について情報発信します。（※資料は「健康きさらづ21推進連絡会議」を通じて作成する）また、引き続き心の健康に関する相談に対して適時相談に応じます。				
	評価	評価基準			
	A [80%以上]	市公式HPの見直しを実施。啓発資料作成について「健康きさらづ21推進連絡会議」にて検討を実施（年2回）、「健康づくり推進協議会」にて資料に対する意見をもらう（年2回）。啓発資料を各種事業にて活用開始できる。			
	B+[60-79%]	市公式HPの見直しを実施。啓発資料作成について「健康きさらづ21推進連絡会議」にて検討を実施（年2回）、「健康づくり推進協議会」にて資料に対する意見をもらう。（年2回）			
	B [40-59%]	市公式HPの見直しを実施。啓発資料作成について「健康きさらづ21推進連絡会議」にて検討を実施（年1回）、「健康づくり推進協議会」にて資料に対する意見をもらう。（年1回）			
	B-[30-39%]	市公式HPの見直しを実施。啓発資料作成について「健康きさらづ21推進連絡会議」にて検討を実施（年1回）。			
	C [30%未満]	市ホームページの見直しを実施			
R5年度 実施計画	心の健康に関する相談に対して、本人の立場に立った丁寧な対応を心がけ、必要に応じ、他機関、他部署と連携をとっていきます。また、市公式HPに掲載されている睡眠、休養を中心とした情報について、適時内容を見直していきます。				
R5年度 取組結果 及び成果	心の相談をはじめ、多岐にわたる相談に対応しました。また相談内容の詳しい聴き取りを行う中で必要な場合には適時他機関、他部署と連携をとりました。				
R5年度 実施結果	評価	評価基準			
	A [80%以上]	-			
	B+[60-79%]	-			
	B [40-59%]	-			
	B-[30-39%]	-			
	C [30%未満]	-			
	実施なし	-			
R5年度 1次評価	B	R5年度 2次評価	B	R5年度 最終評価	B
R5年度 課題や 改善点	本市は睡眠や休養が十分とれている人が県より低い現状があり、適切な休養と睡眠について、市公式HPのみならず、さらなる普及啓発が必要です。				

様式1 第5次木更津市男女共同参画計画 事業評価表 令和5年度

連番	10	施策体系	基本目標 I - 主要課題1 - 施策4	課名	産業振興課
事業名	1-1-4 ①支援メニューの案内等再就職希望者への就労支援				
事業概要	<p>出産・子育て等で退職した女性を含む離職者等の再就職に向けて、国・県等関係団体の実施する再就職支援メニュー等について、市の広報紙・市公式HP及び窓口での資料掲示等により周知を行います。また、県やジョブサポートセンター等と連携し、再就職希望者等に向けたセミナーや相談会を開催します。</p> <p>国・県等関係団体が開催する各種セミナーや相談窓口などのサポート情報を市の広報紙・市公式HP・SNS等を活用し、積極的に周知を行います。また、再就職希望者等に対する就職支援に向けて、関係機関と連携し、セミナーや個別相談会をそれぞれ年2回開催します。</p>				
R6年度 実施計画	評価	評価基準			
	A [80%以上]	再就職支援セミナーの参加者数が定員の8割以上			
	B+[60-79%]	再就職支援セミナーの参加者数が定員の6割以上			
	B [40-59%]	再就職支援セミナーの参加者数が定員の4割以上			
	B-[30-39%]	再就職支援セミナーの参加者数が定員の3割以上			
	C [30%未満]	再就職支援セミナーの参加者数が定員の3割未満			
R5年度 実施計画	<p>国・県等関係団体が開催する各種セミナーや相談窓口などのサポート情報を市の広報紙・市公式HP・SNS等を活用し、積極的に周知を行います。また、再就職希望者等に対する就職支援に向けて、関係機関と連携し、セミナーや個別相談会を開催します。</p>				
R5年度 取組結果 及び成果	<p>国・県等関係団体が開催する各種セミナーや相談窓口などのサポート情報を窓口に掲示するなど、周知を行いました。また、千葉県および近隣3市と連携し、就労支援セミナーおよび個別相談会を開催しました。再就職を規模する方に就職活動の流れや、履歴書等の書き方やコツなどを参加者の方に周知することにより、就労の支援を行うことができました。</p> <p>参加者数（女性向け）：10名（うち個別相談3名） （中高年向け）：11名（うち個別相談2名）</p>				
R5年度 実施結果	評価	評価基準			
	A [80%以上]	-			
	B+[60-79%]	-			
	B [40-59%]	-			
	B-[30-39%]	-			
	C [30%未満]	-			
実施なし	-				
R5年度 1次評価	B	R5年度 2次評価	B	R5年度 最終評価	B
R5年度 課題や 改善点	千葉県ジョブサポートセンターとの共催の就労支援セミナーは、女性向け、中高年向けともに定員の約半分以下の申込であり、更なる周知の強化が課題です。				

様式1 第5次木更津市男女共同参画計画 事業評価表 令和5年度

連番	12	施策体系	基本目標 I - 主要課題1 - 施策5		課名	職員課	
事業名	1-1-5 ②テレワークの推進						
事業概要	全職員が、業務を効率的に取り組むことや、多様な働き方の一つであるテレワークの実施が、自身のワークライフバランスの確保に寄与することを認識するよう、意識の醸成を図ります。また、USB Dongleを使用したテレワークの実施状況を把握し、配布するDongleの数や通信容量について継続的に関係課（総務課、職員課）と協議を重ね、より使用しやすい環境の構築に努めます。						
R6年度 実施計画	他自治体の事例や本市での具体的な実施例を元に、周知の再検討をします。						
	評価			評価基準			
	A [80%以上]	テレワーク実施 年間のべ6, 500人以上					
	B+[60-79%]	テレワーク実施 年間のべ6, 000人以上					
	B [40-59%]	テレワーク実施 年間のべ5, 500人以上					
	B-[30-39%]	テレワーク実施 年間のべ5, 000人以上					
	C [30%未満]	テレワーク実施 年間のべ4, 500人以上					
R5年度 実施計画	令和4年度に実施した職員アンケートを元に課題の洗い出しと整理を行います。その後、事例研究とともに施策に取り入れ、職員への周知を図ります。						
R5年度 取組結果 及び成果	職員アンケートを元に職員への周知を図る予定でしたが、感染症の流行が小康状態となって以降、世情と同様にオフィスワークへの回帰が見られたため、利用対象者や周知内容を見直すこととしました。そのため計画していた職員への周知までは至りませんでした。						
R5年度 実施結果	評価			評価基準			
	A [80%以上]	-					
	B+[60-79%]	-					
	B [40-59%]	-					
	B-[30-39%]	-					
	C [30%未満]	-					
	実施なし			-			
R5年度 1次評価	B		R5年度 2次評価	B		R5年度 最終評価	B
R5年度 課題や 改善点	テレワークの実施は多様な働き方の一つですが、感染症の流行が小康状態となって以降、オフィスワークへの回帰が見られることから、意識の醸成については一定の目的は達成していると考えます。今後は職場環境に適した働き方の選択肢として、認識され続けるための意識付けが必要と思われます。						

様式1 第5次木更津市男女共同参画計画 事業評価表 令和5年度

連番	14	施策体系	基本目標 I - 主要課題2 - 施策1	課名	介護保険課
事業名	1-2-1 ①仕事と育児・介護の両立のための啓発、相談窓口の利用促進				
事業概要	介護保険パンフレットや市の広報誌、市公式HPの活用を積極的に活用し、介護保険制度の周知、利用促進等を図ります。また、地域包括支援センターの周知や機能強化を図り、地域福祉を進めます。				
R6年度 実施計画	窓口及び公民館等で介護保険のパンフレットの周知を徹底するとともに、地域包括支援センター等の相談窓口への周知、案内を進めます。				
	評価	評価基準			
	A [80%以上]	窓口及び公民館等で介護保険のパンフレットの周知、地域包括支援センター等の相談窓口の周知、案内を図るとともに、市の広報紙やHP、SNSによる周知、利用促進を図ります。			
	B+[60-79%]	窓口及び公民館等で介護保険のパンフレットの周知、地域包括支援センター等の相談窓口の周知、案内を図るとともに、市の広報紙やHPによる周知、利用促進を図ります。			
	B [40-59%]	窓口及び公民館等で介護保険のパンフレットの周知を図るとともに、地域包括支援センター等の相談窓口の周知、案内を図ります。			
	B-[30-39%]	窓口及び公民館等で介護保険のパンフレットの周知を図ります。			
	C [30%未満]	窓口で介護保険のパンフレットの周知を図ります。			
R5年度 実施計画	令和5年度中に窓口及び公民館等で介護保険のパンフレットの周知を徹底するとともに、地域包括支援センター等の相談窓口への周知、案内を進めます。				
R5年度 取組結果 及び成果	窓口及び公民館等に介護保険のパンフレットを設置し周知を図るとともに、地域包括支援センターの相談窓口への周知、案内をしました。				
R5年度 実施結果	評価	評価基準			
	A [80%以上]	-			
	B+[60-79%]	-			
	B [40-59%]	-			
	B-[30-39%]	-			
	C [30%未満]	-			
	実施なし	-			
R5年度 1次評価	B	R5年度 2次評価	B	R5年度 最終評価	B
R5年度 課題や 改善点	パンフレットを活用した周知、案内以外の方法による啓発活動を図る必要があります。				

様式1 第5次木更津市男女共同参画計画 事業評価表 令和5年度

連番	16	施策体系	基本目標 I - 主要課題2 - 施策1	課名	こども保育課
事業名	1-2-1 ②保育・介護のための体制整備、待機児童の解消				
事業概要	保育及び学童保育の待機児童解消のため、施設整備や人材確保に対する支援をします。				
R6年度 実施計画	保育環境の改善及び待機児童解消のため、久津間保育園の園舎の大規模改修に係る費用を一部補助し、園児等が安心して保育所を利用できる環境を作ります。市内の保育施設に従事する人材を確保するため、保育士資格の取得を目指す学生に対して修学資金の貸付を行います。また、民間保育園における保育士の処遇の改善のため賃金上乘せ措置を行います。学童保育については、児童の健全育成のための補助金を交付します。				
	評価	評価基準			
	A [80%以上]	待機児童数0人			
	B+[60-79%]	待機児童数2人以下			
	B [40-59%]	待機児童数4人以下			
	B-[30-39%]	待機児童数6人以下			
C [30%未満]	待機児童数7人以上				
R5年度 実施計画	市内の保育施設に従事する人材を確保するため、保育士資格の取得を目指す学生に対して修学資金の貸付を行います。また、民間保育園における保育士の処遇の改善のため賃金上乘せ措置を行います。学童保育については、児童の健全育成のための補助金を交付します。				
R5年度 取組結果 及び成果	修学資金貸付事業については9人の学生に対し貸付を実施し、市内における保育士の確保に努めました。また、民間保育園に従事する保育士の処遇の改善のため、保育施設26カ所の399人の保育士に対し、賃金上乘せ措置を行い、保育人材確保に努めた。賃金上乘せ学童保育については54カ所の事業所に対し補助金を交付し、児童の健全育成に努めました。				
R5年度 実施結果	評価	評価基準			
	A [80%以上]	-			
	B+[60-79%]	-			
	B [40-59%]	-			
	B-[30-39%]	-			
	C [30%未満]	-			
実施なし	-				
R5年度 1次評価	B	R5年度 2次評価	A	R5年度 最終評価	A
R5年度 課題や 改善点	修学資金貸付事業について、貸付の人数が少ない課題があります。本事業は令和4年度からの事業のため認知されていないことから周知を図る取り組みとして指定保育士養成施設に対しチラシを配布するなどし、貸付人数を増やしていきます。				

様式1 第5次木更津市男女共同参画計画 事業評価表 令和5年度

連番	17	施策体系	基本目標 I - 主要課題2 - 施策1	課名	介護保険課
事業名	1-2-1 ②保育・介護のための体制整備、待機児童の解消				
事業概要	施設へ入所を希望する人の早期入所及び家族介護者の負担軽減のため、計画的に施設を整備します。				
R6年度 実施計画	木更津市高齢者保健福祉計画第9期介護保険事業計画で定めた施設の整備に向け、業者選定委員会の委員構成見直しやそれに伴う条例改正等に対応します。				
	評価	評価基準			
	A [80%以上]	7月 選定委員会の委員構成を決定、10月 条例改正の対応、12月 議案上程			
	B+[60-79%]	8月 選定委員会の委員構成を決定、11月 条例改正の対応、12月 議案上程			
	B [40-59%]	9月 選定委員会の委員構成を決定、12月 条例改正の対応、3月 議案上程			
	B-[30-39%]	10月 選定委員会の委員構成を決定、1月 条例改正の対応、3月 議案上程			
	C [30%未満]	11月 選定委員会の委員構成を決定、2月 条例改正の対応、3月 議案上程			
R5年度 実施計画	今年度策定を予定している第9期介護保険事業計画において、令和6年度以降の施設整備の方向性を検証し、計画的な施設整備を位置付けます。				
R5年度 取組結果 及び成果	策定した第9期介護保険事業計画において、施設入所希望者数や各種アンケート調査結果等を勘案し、特別養護老人ホーム2施設、複合型サービス1事業所の整備を位置付けました。				
R5年度 実施結果	評価	評価基準			
	A [80%以上]	-			
	B+[60-79%]	-			
	B [40-59%]	-			
	B-[30-39%]	-			
	C [30%未満]	-			
	実施なし	-			
R5年度 1次評価	B	R5年度 2次評価	B	R5年度 最終評価	B
R5年度 課題や 改善点	第8期計画において予定していた施設整備ができなかったことから、第9期において引き続き整備計画を進める必要があります。				

様式1 第5次木更津市男女共同参画計画 事業評価表 令和5年度

連番	19	施策体系	基本目標 I - 主要課題2 - 施策2	課名	高齢者福祉課
事業名	1-2-2 ①家事、育児、介護等への男性の参加促進のための啓発				
事業概要	在宅で介護する家族の身体的・精神的負担の軽減に向け、家族介護者への支援を行い、男性も含む介護への参加促進のための啓発に努めます。				
R6年度 実施計画	イベント開催時に広報紙、市公式HPやSNSでの周知や広報を行います。また、市内各地域包括支援センターへチラシの配布などを通して、積極的に情報発信を行います。				
	評価	評価基準			
	A [80%以上]	イベント開催時に広報紙・市公式HPでの周知を行い、参加人数が前年度と比べて50%以上増加した。			
	B+[60-79%]	イベント開催時に広報紙・市公式HPでの周知を行い、参加人数が前年度と比べて30%以上増加した。			
	B [40-59%]	イベント開催時に広報紙・市公式HPでの周知を行い、参加人数が前年度と比べて10%以上増加した。			
	B-[30-39%]	イベント開催時に広報紙・市公式HPでの周知を行い、参加人数が前年度と比べて5%以上増加した。			
	C [30%未満]	イベント開催時に広報紙・市公式HPでの周知を行った。			
R5年度 実施計画	高齢者を介護する家族を対象に、医療・介護専門職等による介護知識・技術を学ぶ家族介護教室を、年8回程度開催します。また、認知症の高齢者を介護する家族を対象に、介護者同士の悩み・疑問の共有や、認知症専門医等との意見交換により介護者相互の交流を行う認知症家族交流会を、年3回程度開催します。				
R5年度 取組結果 及び成果	高齢者を介護する家族を対象に、医療・介護専門職等による介護知識・技術を学ぶ家族介護教室を、年6回開催しました。参加人数は66名で、令和4年度に比べ参加人数が、50名以上増加しました。また、認知症の高齢者を介護する家族を対象に、介護者同士の悩み・疑問の共有や、認知症専門医等との意見交換により介護者相互の交流を行う認知症家族交流会を、年3回程度開催しました。				
R5年度 実施結果	評価	評価基準			
	A [80%以上]	-			
	B+[60-79%]	-			
	B [40-59%]	-			
	B-[30-39%]	-			
	C [30%未満]	-			
	実施なし	-			
R5年度 1次評価	B	R5年度 2次評価	B	R5年度 最終評価	B
R5年度 課題や 改善点	参加者増加のため、引き続き、周知方法を工夫するよう努めます。				

様式1 第5次木更津市男女共同参画計画 事業評価表 令和5年度

連番	21	施策体系	基本目標 I - 主要課題2 - 施策3	課名	公民館
事業名	1-2-3 ①地域活動、ボランティア活動などへの参加促進				
事業概要	公民館ボランティア活動を促進します。				
R6年度 実施計画	主催事業を通して参加した受講者へのサークル化への自立を促し、サークル活動から地域参画への積極的なボランティア活動へ繋げていきます。				
	評価	評価基準			
	A [80%以上]	新規サークル化の実現により積極的なボランティア活動に繋がった。			
	B+[60-79%]	サークル活動が積極的なボランティア活動に繋がった。			
	B [40-59%]	サークル活動がある程度ボランティア活動に繋がった。			
	B-[30-39%]	サークル活動の一部はボランティア活動に繋がった。			
	C [30%未満]	サークル活動がボランティア活動に繋がらなかった。			
R5年度 実施計画	主催事業を通して参加した受講者へのサークル化への自立を促し、サークル活動から地域参画への積極的なボランティア活動へ繋げていきます。				
R5年度 取組結果 及び成果	思春期学級において、公民館まつりに出展することを目的に、参加者が各自で得意なものを制作しました。参加者は地域の方々と触れ合うこともできたことに喜びを感じていました。また、参加者が自主的に計画し、ガイドを依頼して久留里線の旅を実施しました。				
R5年度 実施結果	評価	評価基準			
	A [80%以上]	-			
	B+[60-79%]	-			
	B [40-59%]	-			
	B-[30-39%]	-			
	C [30%未満]	-			
	実施なし	-			
R5年度 1次評価	B	R5年度 2次評価	B	R5年度 最終評価	B
R5年度 課題や 改善点	地域活動やボランティア活動に対し、市民の自主性を促す事業を実施することができました。今後はサークル化に繋がる事業も模索していきます。				

様式1 第5次木更津市男女共同参画計画 事業評価表 令和5年度

連番	22	施策体系	基本目標 I - 主要課題2 - 施策3	課名	生涯学習課
事業名	1-2-3 ①地域活動、ボランティア活動などへの参加促進				
事業概要	各種団体の代表者として、性別にとらわれず、有能な人物を代表者として選出できる社会教育施策を推進します。地域で活動する男性（特に父親）が社会教育施設や地域行事に積極的に参加できるような体制づくりに取り組みます。				
R6年度 実施計画	社会教育関係団体、機関の代表者の人選について、性別にとらわれない選出に努めます。また、地域活動において、性別による無意識の思い込みがないよう働きかけに努めます。				
	評価	評価基準			
	A [80%以上]	各種審議会において、女性委員の割合が3割以上			
	B+[60-79%]	各種審議会において、女性委員の割合が2割以上			
	B [40-59%]	各種審議会において、女性委員の割合が1割以上			
	B-[30-39%]	各種審議会において、性別にとらわれない選出を行ったが女性委員はいない			
	C [30%未満]	各種審議会において、男性のみの委員を選出基準とする			
R5年度 実施計画	社会教育関係団体、機関の代表者の人選について、性別にとらわれない選出に努めます。また、地域活動において、性別による無意識の思い込みがないよう働きかけに努めます。				
R5年度 取組結果 及び成果	各種審議会において、性別にとらわれない選出に努めた結果、各団体から有能な人物を代表者として選出できました。				
R5年度 実施結果	評価	評価基準			
	A [80%以上]	-			
	B+[60-79%]	-			
	B [40-59%]	-			
	B-[30-39%]	-			
	C [30%未満]	-			
	実施なし	-			
R5年度 1次評価	B	R5年度 2次評価	B	R5年度 最終評価	B
R5年度 課題や 改善点	各種審議会において、男性のみの委員を選出基準としない選出に努めた結果、各団体から性別ではなく経歴や実績を根拠に有能な人物を代表者として選出できましたが、男性比率の方が高い結果となったため、女性の参画についてより働きかけを行います。				

様式1 第5次木更津市男女共同参画計画 事業評価表 令和5年度

連番	25	施策体系	基本目標 I - 主要課題2 - 施策3	課名	公民館
事業名	1-2-3 ②公民館事業や市民活動事業の推進、地域づくり人材の発掘				
事業概要	幅広い年齢層に応じた各種学級・講座の開設、地域総合型スポーツクラブへの支援、地域コミュニティー活動の拠点としての公民館の活用促進、乳幼児を持つ母親の交流機会の提供など、地域課題の解決に向けた事業を実施します。				
R6年度 実施計画	多角的な視点から各種教室を開催し、講座・学級運営に男女を参画させ、地域づくりの人材を育成していきます。				
	評価	評価基準			
	A [80%以上]	公民館事業、市民活動事業を推進することができた。地域づくり人材の発掘ができた。(対象公民館の8割以上)			
	B+[60-79%]	公民館事業、市民活動事業を推進することができた。地域づくり人材の発掘ができた。(対象公民館の6割以上)			
	B [40-59%]	公民館事業、市民活動事業を推進することができた。地域づくり人材の発掘ができた。(対象公民館の4割以上)			
	B-[30-39%]	公民館事業、市民活動事業を推進することができた。地域づくり人材の発掘ができた。(対象公民館の3割以上)			
	C [30%未満]	公民館事業、市民活動事業を推進することができた。地域づくり人材の発掘ができた。(対象公民館の3割未満)			
R5年度 実施計画	多角的な視点から各種教室を開催し、講座・学級運営に男女を参画させ、地域づくりの人材を育成していきます。				
R5年度 取組結果 及び成果	児童、子育て世代の親、高齢者、ハンディキャップを持つ方を対象に、青少年健全育成事業、家庭教育学級、高齢者学級、ポランの広場などの講座及び学級を開催しました。成果としては、幅広いジャンルの参加者の声を聴くことで、各世代の方が求めている内容を理解することができました。				
R5年度 実施結果	評価	評価基準			
	A [80%以上]	-			
	B+[60-79%]	-			
	B [40-59%]	-			
	B-[30-39%]	-			
	C [30%未満]	-			
	実施なし	-			
R5年度 1次評価	B	R5年度 2次評価	B	R5年度 最終評価	B
R5年度 課題や 改善点	公民館事業を中心に多角的な活動ができました。今後はより男女共に参加できるような事業内容を吟味していきます。				

様式1 第5次木更津市男女共同参画計画 事業評価表 令和5年度

連番	26	施策体系	基本目標 I - 主要課題2 - 施策3	課名	生涯学習課
事業名	1-2-3 ②公民館事業や市民活動事業の推進、地域づくり人材の発掘				
事業概要	市民活動の充実を図るため、生涯学習フェスティバル等実行委員会を組織し、フェスティバルを年1回開催します。地域づくりを担うキーパーソンとなり得る人材の発掘及び育成を図ります。				
R6年度 実施計画	生涯学習フェスティバルに代わって、令和4年度から開催している「若者語り場」の活動を通じて、地域づくりを担うキーパーソンの発掘及び育成に努め、市民活動の充実を図るための支援を随時行います。				
	評価	評価基準			
	A [80%以上]	「若者語り場」定例会への参加者 16人以上			
	B+[60-79%]	「若者語り場」定例会への参加者 15人以下			
	B [40-59%]	「若者語り場」定例会への参加者 11人以下			
	B-[30-39%]	「若者語り場」定例会への参加者 7人以下			
	C [30%未満]	「若者語り場」定例会への参加者 5人以下			
R5年度 実施計画	地域づくりを担うキーパーソンの発掘及び育成に努め、市民活動の充実を図るための支援を随時行ないます。				
R5年度 取組結果 及び成果	生涯学習フェスティバルに代わって、令和4年度から開催している若者語り場の活動を通じて、参加者から挙げたやりたいことや課題を課題解決のための活動やイベントにつなげ、地域づくりを担うキーパーソンの発掘及び育成に努めました。令和5年度は参加者が主体となって2つのイベントの企画・立案を行いました。				
R5年度 実施結果	評価	評価基準			
	A [80%以上]	-			
	B+[60-79%]	-			
	B [40-59%]	-			
	B-[30-39%]	-			
	C [30%未満]	-			
	実施なし	-			
R5年度 1次評価	B	R5年度 2次評価	B	R5年度 最終評価	B
R5年度 課題や 改善点	令和5年度は若者語り場で、2つのイベントの企画・立案を行いました。開催人数に満たず開催できなかったものが1つだったため、周知に力を入れる等支援に努めます。				

様式1 第5次木更津市男女共同参画計画 事業評価表 令和5年度

連番	27	施策体系	基本目標 I - 主要課題2 - 施策3	課名	市民活動支援課
事業名	1-2-3 ②公民館事業や市民活動事業の推進、地域づくり人材の発掘				
事業概要	市民活動支援センターにおいて、市民活動団体のニーズに沿った支援事業を実施し、さらなる市民活動の推進を図ります。				
R6年度 実施計画	登録団体を対象としたアンケートを実施して、市民活動団体の現状やニーズを把握します。				
	評価	評価基準			
	A [80%以上]	登録団体を対象としたアンケートの回答率が8割以上			
	B+[60-79%]	登録団体を対象としたアンケートの回答率が6割以上			
	B [40-59%]	登録団体を対象としたアンケートの回答率が4割以上			
	B-[30-39%]	登録団体を対象としたアンケートの回答率が3割以上			
	C [30%未満]	登録団体を対象としたアンケートを実施			
R5年度 実施計画	市民活動支援センターにて、前年度に引き続き、登録団体を対象としたアンケートを実施するとともに、アンケートで把握した現状やニーズに沿った自主事業を実施し、市民活動を推進します。				
R5年度 取組結果 及び成果	市民活動支援センターにて、市民活動団体の現状やニーズを把握するため、全登録団体を対象としたアンケートを実施しました。回答率が5割程度であったため、さらなる働きかけが必要だと考えます。				
R5年度 実施結果	評価	評価基準			
	A [80%以上]	-			
	B+[60-79%]	-			
	B [40-59%]	-			
	B-[30-39%]	-			
	C [30%未満]	-			
	実施なし	-			
R5年度 1次評価	B	R5年度 2次評価	B	R5年度 最終評価	B
R5年度 課題や 改善点	市民活動団体の現状やニーズの把握を行うためアンケートを実施したものの、回答率が5割程度だったため、アンケートの実施時期や内容等を精査し、回答率を上げる方法を検討していきます。				

様式1 第5次木更津市男女共同参画計画 事業評価表 令和5年度

連番	28	施策体系	基本目標 I - 主要課題3 - 施策1	課名	各課
事業名	1-3-1 ①審議会等における女性委員の積極的登用、公募の実施				
事業概要	女性の意見を政策や方針に反映させる必要があることから「附属機関等の委員の選任等指針」に基づく委員選出の促進を図り、審議会等における女性委員の構成比を高めるため、審議会等委員の公募を実施します。				
R6年度 実施計画	女性の意見を政策や方針に反映させる必要があることから「附属機関等の委員の選任等指針」に基づく委員選出の促進を図り、審議会等における女性委員の構成比を高めるため、審議会等委員の公募を実施します。				
	評価	評価基準			
	A [80%以上]	審議会等における女性委員の構成比40%以上			
	B+[60-79%]	審議会等における女性委員の構成比35%以上			
	B [40-59%]	審議会等における女性委員の構成比30%以上			
	B-[30-39%]	審議会等における女性委員の構成比25%以上			
	C [30%未満]	審議会等における女性委員の構成比25%未満			
R5年度 実施計画	女性の意見を政策や方針に反映させる必要があることから「附属機関等の委員の選任等指針」に基づく委員選出の促進を図り、審議会等における女性委員の構成比を高めるため、審議会等委員の公募を実施します。				
R5年度 取組結果 及び成果	女性委員を委嘱している審議会の増加を図るため、審議会等委員の公募を実施しました。進行管理では、公募の実施可能な審議会と公募がなじまない審議会を区別し、分かりやすい実施状況の見せ方に取り組みました。審議会等における女性委員の構成比は27.0%でした。				
R5年度 実施結果	評価	評価基準			
	A [80%以上]	-			
	B+[60-79%]	-			
	B [40-59%]	-			
	B-[30-39%]	-			
	C [30%未満]	-			
	実施なし	-			
R5年度 1次評価	B	R5年度 2次評価	B	R5年度 最終評価	B
R5年度 課題や 改善点	報告様式の見直しを行いました。				

様式1 第5次木更津市男女共同参画計画 事業評価表 令和5年度

連番	30	施策体系	基本目標 I - 主要課題3 - 施策1	課名	地域共生推進課
事業名	1-3-1 ③企業、団体、学校における女性の管理職登用への働きかけ				
事業概要	男女共同参画に関する研修会・講習会等で、女性の管理職登用についての働きかけを行います。				
R6年度 実施計画	民間企業・団体等における女性の積極的な登用が促進されるように、チラシやポスターの掲示等により、女性登用促進を働きかけます。				
	評価	評価基準			
	A [80%以上]	国や県から依頼されたポスターの掲示やチラシの配布、SNSでの情報発信回数3回以上			
	B+[60-79%]	国や県から依頼されたポスターの掲示やチラシの配布、SNSでの情報発信回数2回			
	B [40-59%]	国や県から依頼されたポスターの掲示やチラシの配布、SNSでの情報発信回数1回			
	B-[30-39%]	国や県から依頼されたポスターの掲示やチラシの配布			
	C [30%未満]	女性の管理職登用についての働きかけ方法について検討する			
R5年度 実施計画	研修会・講習会等で、民間企業・団体等における女性の積極的な登用が促進されるように、チラシやポスターの掲示、男女共同参画参画情報紙への啓発記事の掲載等により、女性登用促進を働きかけます。				
R5年度 取組結果 及び成果	研修会・講習会等で、民間企業・団体等における女性の積極的な登用が促進されるように、チラシの配布やポスターの掲示により、女性登用促進を働きかけました。				
R5年度 実施結果	評価	評価基準			
	A [80%以上]	-			
	B+[60-79%]	-			
	B [40-59%]	-			
	B-[30-39%]	-			
	C [30%未満]	-			
	実施なし	-			
R5年度 1次評価	B	R5年度 2次評価	B	R5年度 最終評価	B
R5年度 課題や 改善点	周知方法について検討を行い、ポスター掲示及びチラシ配布をただ行うだけではなく、市民にとって印象に残るような切り口で行う工夫が必要です。				

様式1 第5次木更津市男女共同参画計画 事業評価表 令和5年度

連番	32	施策体系	基本目標 I - 主要課題3 - 施策2	課名	職員課
事業名	1-3-2 ①女性の能力開発につながる研修等への参加促進				
事業概要	女性の能力が十分に発揮されるよう、千葉県自治研修センターや市町村アカデミー等の研修専門機関が実施する研修について周知を図ります。				
R6年度 実施計画	女性の能力が十分に発揮されるよう、千葉県自治研修センターや市町村アカデミー等の研修専門機関が実施する研修について周知を図ります。				
	評価	評価基準			
	A [80%以上]	研修への応募人数 前年比5%増(研修の中止等を加味する。)			
	B+[60-79%]	研修への応募人数 前年比2%増(研修の中止等を加味する。)			
	B [40-59%]	研修への応募人数 前年比同程度(研修の中止等を加味する。)			
	B-[30-39%]	研修への応募人数 前年比2%減(研修の中止等を加味する。)			
R5年度 実施計画	女性の能力が十分に発揮されるよう、千葉県自治研修センターや市町村アカデミー等の研修専門機関が実施する研修について周知を図ります。				
R5年度 取組結果 及び成果	各研修の案内を通知し、応募者を募りました。 千葉県自治研修センター 42名の応募中13名が女性(女性活躍推進研修等) 市町村アカデミー 16名の応募中4名が女性				
R5年度 実施結果	評価	評価基準			
	A [80%以上]	-			
	B+[60-79%]	-			
	B [40-59%]	-			
	B-[30-39%]	-			
	C [30%未満]	-			
	実施なし	-			
R5年度 1次評価	B	R5年度 2次評価	B	R5年度 最終評価	B
R5年度 課題や 改善点	予算との兼ね合いになりますが、参加可能な研修について再周知を行い応募できるようにします。				

様式1 第5次木更津市男女共同参画計画 事業評価表 令和5年度

連番	33	施策体系	基本目標 I - 主要課題3 - 施策2	課名	地域共生推進課
事業名	1-3-2 ②女性の能力開発につながる情報発信				
事業概要	広報紙や市ホームページ、SNSなどさまざまな媒体を活用し、女性の能力開発につながる情報発信を行います。				
R6年度 実施計画	市ホームページの男女共同参画ポータルページに女性活躍推進を取り扱うページを追加します。また、SNSを活用して女性活躍推進に関する情報発信を行います。				
	評価	評価基準			
	A [80%以上]	市公式HPに女性活躍推進に関するページの追加、SNSでの情報発信回数3回以上			
	B+[60-79%]	市公式HPに女性活躍推進に関するページの追加、SNSでの情報発信回数2回			
	B [40-59%]	市公式HPに女性活躍推進に関するページの追加、SNSでの情報発信回数1回			
	B-[30-39%]	市公式HPに女性活躍推進に関するページの追加			
	C [30%未満]	市公式HPに女性活躍推進に関するページ追加の検討			
R5年度 実施計画	市公式HPの男女共同参画ページの構成を見直し、ポータルページを作成した上で女性活躍推進を取り扱うページを新設します。				
R5年度 取組結果 及び成果	市公式HPの男女共同参画ページの構成を見直し、ポータルページを作成し、他自治体の動向を踏まえた情報収集を行い、女性活躍推進を取り扱うページの新設に向けた検討を行いました。				
R5年度 実施結果	評価	評価基準			
	A [80%以上]	-			
	B+[60-79%]	-			
	B [40-59%]	-			
	B-[30-39%]	-			
	C [30%未満]	-			
	実施なし	-			
R5年度 1次評価	C	R5年度 2次評価	C	R5年度 最終評価	C
R5年度 課題や 改善点	市公式HPのリニューアルもあり、ページの新設は見送りましたが、令和6年度に実施する予定です。				

様式1 第5次木更津市男女共同参画計画 事業評価表 令和5年度

連番	35	施策体系	基本目標Ⅱ- 主要課題4 - 施策1	課名	生涯学習課
事業名	2-4-1 ①人権尊重についての啓発や講座等の開催				
事業概要	人権問題に関する市民の理解を深め、人権意識の高揚を図るため、チラシ配布等啓発活動を行います。学校教育・社会教育関係者等を対象に、講演会・研修会を年1回開催します。				
R6年度 実施計画	各公民館に、男女共同参画について学習できるメニューを取り入れるよう働きかけるとともに、学校教育・社会教育関係者等を対象に、講演会・研修会を年1回開催します。				
	評価	評価基準			
	A [80%以上]	人権教育研修会 参加者25名以上			
	B+[60-79%]	人権教育研修会 参加者22名以下			
	B [40-59%]	人権教育研修会 参加者20名以下			
	B-[30-39%]	人権教育研修会 参加者18名以下			
R5年度 実施計画	各公民館に、男女共同参画について学習できるメニューを取り入れるよう働きかけるとともに、学校教育・社会教育関係者等を対象に、講演会・研修会を年1回開催します。				
	市民の人権意識の高揚のため、教育委員関係職員・社会教育関係職員・学校教育関係者・人権関係課職員・市民を対象に下記のとおり研修会を開催しました。 開催日時 令和6年2月27日 参加人数 22人(会場参加11名、ZOOM参加11名) テーマ 「男らしさ・女らしさ」より「その人らしさ」を大切に～性的マイノリティについて～ (対面及びオンラインにて実施) 講師 星野慎二氏(特定非営利活動法人SHIP理事長)				
R5年度 実施結果	評価	評価基準			
	A [80%以上]	-			
	B+[60-79%]	-			
	B [40-59%]	-			
	B-[30-39%]	-			
	C [30%未満]	-			
	実施なし	-			
R5年度 1次評価	B	R5年度 2次評価	B	R5年度 最終評価	B
R5年度 課題や 改善点	一般の参加者が少なかったため、LINEやFacebookへの掲載を強化する等広報の仕方を工夫し、より多くの人 の目に開催が周知されるよう努めます。				

様式1 第5次木更津市男女共同参画計画 事業評価表 令和5年度

連番	36	施策体系	基本目標Ⅱ- 主要課題4 - 施策1	課名	子育て支援課
事業名	2-4-1 ①人権尊重についての啓発や講座等の開催				
事業概要	11月の「女性に対する暴力をなくす運動」期間を中心にその啓発活動を行います。				
R6年度 実施計画	11月の「女性に対する暴力をなくす運動」期間を中心にその啓発活動として市公式HP、広報、SNS、デジタルサイネージを用いて情報発信を行ないます。				
	評価	評価基準			
	A [80%以上]	11月の「女性に対する暴力をなくす運動」期間に紫リボンを身に付け、広報紙、市公式HP、SNS、デジタルサイネージにて啓発活動を行なう			
	B+[60-79%]	11月の「女性に対する暴力をなくす運動」期間に紫リボンを身に付け、市公式HP、SNS、デジタルサイネージにて啓発活動を行なう			
	B [40-59%]	11月の「女性に対する暴力をなくす運動」期間に紫リボンを身に付け、市公式HP、SNSにて啓発活動を行なう			
	B-[30-39%]	11月の「女性に対する暴力をなくす運動」期間に紫リボンを身に付け、SNSにて啓発活動を行なう			
	C [30%未満]	11月の「女性に対する暴力をなくす運動」期間に紫リボンを身に付け啓発活動を行なう			
R5年度 実施計画	啓発活動を通じ、相談窓口の周知に努めます。SNS等のデジタル媒体での周知を強化したいと思います。				
R5年度 取組結果 及び成果	11月の「女性に対する暴力をなくす運動」について、広報については掲載希望多数のため掲載することができませんでした。SNSやデジタルサイネージにて情報発信を行いました。				
R5年度 実施結果	評価	評価基準			
	A [80%以上]	-			
	B+[60-79%]	-			
	B [40-59%]	-			
	B-[30-39%]	-			
	C [30%未満]	-			
	実施なし	-			
R5年度 1次評価	B	R5年度 2次評価	B	R5年度 最終評価	B
R5年度 課題や 改善点	11月の「女性に対する暴力をなくす運動」期間に紫リボンを身に付け、広報、市公式HP、SNS、デジタルサイネージにて啓発活動を行いました。広報に掲載することが出来なかったため、R6年度は掲載内容を工夫し少しでも発信できるよう努めます。				

様式1 第5次木更津市男女共同参画計画 事業評価表 令和5年度

連番	37	施策体系	基本目標Ⅱ- 主要課題4 - 施策1	課名	子育て支援課
事業名	2-4-1 ②DVや高齢者・障がい者・児童虐待の相談に対する連携の強化				
事業概要	配偶者やパートナーからの暴力や、子どもに対する暴力に対応するため、適切な助言をし、必要に応じて関係機関と連携を取りながら、問題の解決を図ります。				
R6年度 実施計画	相談に対して適切な社会資源を提示し、相談者自身が支援方法を選択して問題解決ができるよう支援します。要保護児童対策協議会の構成機関である障がい福祉課と福祉相談課と子ども発達支援課との更なる連携強化に努めます。				
	評価	評価基準			
	A [80%以上]	問題解決した相談者の割合が80%以上			
	B+[60-79%]	問題解決した相談者の割合が60%以上			
	B [40-59%]	問題解決した相談者の割合が40%以上			
	B-[30-39%]	問題解決した相談者の割合が30%以上			
	C [30%未満]	問題解決した相談者の割合が30%未満			
R5年度 実施計画	相談に対して適切な社会資源を提示し、相談者自身が支援方法を選択して問題解決ができるよう支援します。令和5年度から障がい福祉課と福祉相談課と子ども発達支援課が要保護児童対策協議会の構成機関に加わり、更なる連携強化に努めます。				
R5年度 取組結果 及び成果	相談内容に応じて適切な社会資源を提示し、相談者自身が支援方法を選択して問題解決ができるよう236件の相談を受けました。また、必要に応じて関係機関と連携しながら問題解決に努めました。				
R5年度 実施結果	評価	評価基準			
	A [80%以上]	-			
	B+[60-79%]	-			
	B [40-59%]	-			
	B-[30-39%]	-			
	C [30%未満]	-			
	実施なし	-			
R5年度 1次評価	B	R5年度 2次評価	B	R5年度 最終評価	B
R5年度 課題や 改善点	相談内容に応じて適切な社会資源を提示し、相談者自身が支援方法を選択して問題解決ができるよう支援を行っていますが解決に至らないこともあり、本人の状況に応じた継続的な支援の提供を行う必要があります。				

様式1 第5次木更津市男女共同参画計画 事業評価表 令和5年度

連番	38	施策体系	基本目標Ⅱ- 主要課題4 - 施策1	課名	福祉相談課
事業名	2-4-1 ②DVや高齢者・障がい者・児童虐待の相談に対する連携の強化				
事業概要	アウトリーチ等により初期相談の役割を担い、専門機関への適切な繋ぎを行います。				
R6年度 実施計画	コミュニティソーシャルワーカーや自立相談支援員による初期相談から、関係機関や専門機関、福祉専門職等と役割分担を行い、相談者の支援に努めます。				
	評価	評価基準			
	A [80%以上]	支援会議12回・重層的支援会議4回			
	B+[60-79%]	支援会議10回・重層的支援会議3回			
	B [40-59%]	支援会議8回・重層的支援会議2回			
	B-[30-39%]	支援会議6回・重層的支援会議1回			
	C [30%未満]	支援会議4回・重層的支援会議0回			
R5年度 実施計画	アウトリーチによる初期相談のほか、対象者への支援にあたり生活困窮者支援調整会議を活用することで、専門機関と連携して課題解決に努めます。				
R5年度 取組結果 及び成果	自立相談支援員による相談支援を実施することができました。多機関協働事業による支援会議を生活困窮者支援調整会議と兼ねて実施し、専門機関等と連携して課題解決に努めることができました。 支援会議 年間12回実施				
R5年度 実施結果	評価	評価基準			
	A [80%以上]	-			
	B+[60-79%]	-			
	B [40-59%]	-			
	B-[30-39%]	-			
	C [30%未満]	-			
	実施なし	-			
R5年度 1次評価	B	R5年度 2次評価	A	R5年度 最終評価	A
R5年度 課題や 改善点	初期相談から継続した支援になる際に、次の関係機関に繋ぐことが難しい場合があります。関係機関や関係各課と連携の在り方を確認する必要があります。				

様式1 第5次木更津市男女共同参画計画 事業評価表 令和5年度

連番	39	施策体系	基本目標Ⅱ- 主要課題4 - 施策1	課名	高齢者福祉課
事業名	2-4-1 ②DVや高齢者・障がい者・児童虐待の相談に対する連携の強化				
事業概要	高齢者虐待についての情報を周知し、虐待の予防、早期発見・早期通報に繋がるように努めます。また、高齢者虐待の早期発見・早期対応ができるよう関係機関との連携強化を図ります。				
R6年度 実施計画	木更津市高齢者虐待防止ネットワークを活用し、養護者による高齢者虐待の防止から個別支援にいたる各段階において関係機関と連携を図り、適切な支援を行います。				
	評価	評価基準			
	A [80%以上]	虐待についての知識を深めるための勉強会を2回開催し、個別事例検討会を6回開催する。			
	B+[60-79%]	虐待についての知識を深めるための勉強会を1回開催し、個別事例検討会を5回開催する。			
	B [40-59%]	虐待についての知識を深めるための勉強会を1回開催し、個別事例検討会を4回開催する。			
	B-[30-39%]	虐待についての知識を深めるための勉強会を1回開催し、個別事例検討会を3回開催する。			
	C [30%未満]	虐待についての知識を深めるための勉強会を1回開催し、個別事例検討会を2回開催する。			
R5年度 実施計画	令和5年度より高齢者虐待防止ネットワーク事業が開始となりました。関係機関と定期的に会議を行い、現在生じている課題や課題解消にむけた関わり方法などを検討し、更なる柔軟な支援を行っていきます。また、高齢者虐待への周知などにも取り組み、予防対策を行っていきます。				
R5年度 取組結果 及び成果	関係機関を対象とした虐待防止のための勉強会を2回開催しました。これは経済的課題や生活上課題を抱える者に対し、どう支援していくのか支援者のスキルアップ目的としています。弁護士へ講演を依頼し、関わる際のポイントなどを説明してもらい、成年後見制度に関する理解を深めることができました。また、虐待事例の検討・分析を目的とし、客観的な視点での評価の場としての個別事例検討会を5回開催しました。第三者の意見・評価を受け、適切な支援へ繋がっていると考えています。				
R5年度 実施結果	評価	評価基準			
	A [80%以上]	-			
	B+[60-79%]	-			
	B [40-59%]	-			
	B-[30-39%]	-			
	C [30%未満]	-			
	実施なし	-			
R5年度 1次評価	B	R5年度 2次評価	B	R5年度 最終評価	B
R5年度 課題や 改善点	地域へ的高齢者虐待防止についての周知活動ができませんでした。今後は地域ケア会議の場を活用し、PRを図っていきます。				

様式1 第5次木更津市男女共同参画計画 事業評価表 令和5年度

連番	46	施策体系	基本目標Ⅱ- 主要課題5 - 施策1	課名	子育て支援課
事業名	2-5-1 ②経済的困窮を抱えるひとり親家庭に対する自立支援の推進				
事業概要	ひとり親家庭等の生活の安定と自立を支援するため、児童扶養手当を支給します。また、ひとり親家庭等の経済的負担と精神的不安の軽減を図るため、保険診療自己負担分に対し、一部助成を行います。				
R6年度 実施計画	ひとり親家庭等に対し児童扶養手当の支給及び医療費の一部を助成するとともに、利用が可能な世帯への案内を強化しひとり親家庭等の生活の安定と自立を支援します。				
	評価	評価基準			
	A [80%以上]	ひとり親世帯のうち本制度利用可能世帯に対し、全世帯の利用に繋げ、生活の安定と自立を支援します。			
	B+[60-79%]	子育て支援課へ来庁者について、児童扶養手当、ひとり親制度について制度の説明が行えているかチェック体制を確立し、受給可能性を確認し、次回来庁時の案内に繋げます。			
	B [40-59%]	市民課とのを行い、連携しスマート窓口制度により児童扶養手当制度、ひとり親制度の案内漏れを防ぎます。			
	B-[30-39%]	手続き来庁者に対し、ひとり親家庭と思われる世帯には児童扶養手当制度及びひとり親医療費助成制度の声掛けを行います。			
	C [30%未満]	児童扶養手当、ひとり親制度の受給希望者に対し案内及び助成を行います。			
R5年度 実施計画	ひとり親家庭等に対し児童扶養手当の支給及び医療費の一部を助成します。				
R5年度 取組結果 及び成果	ひとり親家庭等の生活の安定と自立を支援するため、児童扶養手当の支給を行いました。また、ひとり親家庭等の経済的負担と精神的不安の軽減を図るため、保険診療自己負担分に対し、一部助成を行いました。				
R5年度 実施結果	評価	評価基準			
	A [80%以上]	-			
	B+[60-79%]	-			
	B [40-59%]	-			
	B-[30-39%]	-			
	C [30%未満]	-			
	実施なし	-			
R5年度 1次評価	B	R5年度 2次評価	B	R5年度 最終評価	B
R5年度 課題や 改善点	子育て支援課の来庁者に対しひとり親家庭で利用できる制度案内をより徹底するため、課内においてひとり親家庭であるかどうか連携体制の強化を図り、ひとり親家庭へのより着実な支援に繋げることが必要です。				

様式1 第5次木更津市男女共同参画計画 事業評価表 令和5年度

連番	59	施策体系	基本目標Ⅱ- 主要課題5 - 施策3	課名	高齢者福祉課
事業名	2-5-3 ③高齢者、障がい者の自立支援及び社会参加の促進				
事業概要	高齢者が長年培ってきた知識や経験を活かし就業機会の拡充を図ることにより高齢者の社会参加を促進します。				
R6年度 実施計画	評価		評価基準		
	A [80%以上]	木更津市シルバー人材センター会員数350人以上			
	B+[60-79%]	木更津市シルバー人材センター会員数335人以上			
	B [40-59%]	木更津市シルバー人材センター会員数320人以上			
	B-[30-39%]	木更津市シルバー人材センター会員数306人以上			
	C [30%未満]	木更津市シルバー人材センター会員数306人未満			
	R5年度 実施計画	高齢者の就業機会の拡充を図り高齢者の社会参加を促進するため、木更津市シルバー人材センターの受注拡大や会員確保のための事業に対し支援します。			
R5年度 取組結果 及び成果	令和4年度316人であった会員数が306人に減少しました。あわせて契約金額及び受注件数も減少しました。				
R5年度 実施結果	評価		評価基準		
	A [80%以上]	-			
	B+[60-79%]	-			
	B [40-59%]	-			
	B-[30-39%]	-			
	C [30%未満]	-			
	実施なし		-		
R5年度 1次評価	C	R5年度 2次評価	C	R5年度 最終評価	C
R5年度 課題や 改善点	微減とはいえ、契約金額、受注件数、会員数ともに減少が続いており、新たな就労先や会員を確保するための広報活動が必要と考えます。				

様式1 第5次木更津市男女共同参画計画 事業評価表 令和5年度

連番	60	施策体系	基本目標Ⅱ- 主要課題5 - 施策3	課名	福祉相談課
事業名	2-5-3 ③高齢者、障がい者の自立支援及び社会参加の促進				
事業概要	生活困窮者等就労支援事業を推進する等により、多様な社会参加を推進します。				
R6年度 実施計画	就労支援事業を活用し、社会参加から就労に繋がるように支援を実施します。				
	評価	評価基準			
	A [80%以上]	就労または障害等の支援に繋がった就労支援事業参加者の割合80%以上			
	B+[60-79%]	就労または障害等の支援に繋がった就労支援事業参加者の割合70%以上			
	B [40-59%]	就労または障害等の支援に繋がった就労支援事業参加者の割合60%以上			
	B-[30-39%]	就労または障害等の支援に繋がった就労支援事業参加者の割合50%以上			
	C [30%未満]	就労または障害等の支援に繋がった就労支援事業参加者の割合50%未満			
R5年度 実施計画	ひきこもりや障がいによる社会への参加が出来ていない方へ、ハローワークのほかサポートステーション、協力事業者と連携し、支援を行います。				
R5年度 取組結果 及び成果	ひきこもりや障害等によって社会参加ができない方に対し、就労支援事業を通じて、基本的な生活習慣等を学びなおし、ボランティア活動等を通して、仕事を始める準備をすることができました。 就労支援事業参加者24名				
R5年度 実施結果	評価	評価基準			
	A [80%以上]	-			
	B+[60-79%]	-			
	B [40-59%]	-			
	B-[30-39%]	-			
	C [30%未満]	-			
	実施なし	-			
R5年度 1次評価	B	R5年度 2次評価	B	R5年度 最終評価	B
R5年度 課題や 改善点	就労支援事業から、就労に繋がるケースは2割程度に留まっています。年々、事業に参加する人が減少しており、支援の在り方を検討する必要があります。				

様式1 第5次木更津市男女共同参画計画 事業評価表 令和5年度

連番	63	施策体系	基本目標Ⅱ- 主要課題6 - 施策1	課名	健康推進課
事業名	2-6-1 ①各種成人保健事業の推進				
事業概要	がんや生活習慣病の予防についての啓発を行なうとともに、各種検診を実施し、生活習慣病等の予防に努めます。				
R6年度 実施計画	がん検診の受診率向上をめざし、受診日の増と2種類の検診の同日実施を行います。らづFitについては、目標歩数を達成しやすくすることで利用者の増加を目指します。らづBodyについては、各事業やイベント等での周知や情報発信の強化により利用を促進します。また、若年期健康診査の集団健診の予約枠を増やすことによる受診率の向上を図ります。				
	評価	評価基準			
	A [80%以上]	らづBody利用者数 12,000人			
	B+[60-79%]	らづBody利用者数 11,000人			
	B [40-59%]	らづBody利用者数 10,000人			
	B-[30-39%]	らづBody利用者数 9,000人			
	C [30%未満]	らづBody利用者数 8,000人			
R5年度 実施計画	6月～12月に各種がん検診（胃、肺、大腸、乳、子宮）の集団検診を実施し、個別検診は子宮がん検診を同年、乳がん検診を7月～翌年3月の間実施します。また、早期からの生活習慣病予防として、30歳代を対象とした若年期健康診査を実施し、保健師・栄養士による保健指導を行ないます。40歳代以上については、特定健康診査等の受診者に対し、生活習慣病重症化予防のための保健指導を実施することで、合併症予防に努めます。また、らづBody（体組成計）や、らづFitの周知をはかり、市民のヘルスマネジメント向上に努めます。				
R5年度 取組結果 及び成果	がん検診については、小中学校の保護者に向けたチラシの配布や各種イベントでの啓発を行うなど、受診率向上に努め、集団健診では全ての検診で令和4年度の受診者数を上回ることができました。また、若年期健康診査の集団健診については、オンライン申請を取り入れ、市民が申請しやすい環境を整えると共に、状況に応じ、健診結果を保健師が面接して返却するなど指導の充実をはかりました。市民が健康管理に、らづBody（体組成計）、らづFit（健康アプリ）を利用できるよう、イベント等で周知をはかると共に、健康測定会や健康教育や健康相談などにおいて活用しました。らづBodyのR5年度の利用者数は11,155人（延）で月平均にすると約930人の利用があり、らづFitの登録者は8,250人であり、令和4年度より約2100人増加しました。				
R5年度 実施結果	評価	評価基準			
	A [80%以上]	-			
	B+[60-79%]	-			
	B [40-59%]	-			
	B-[30-39%]	-			
	C [30%未満]	-			
実施なし	-				
R5年度 1次評価	B	R5年度 2次評価	B	R5年度 最終評価	B
R5年度 課題や 改善点	がん検診は令和4年度より受診率を上回ったものの、依然として県内では受診率が低い状況であることから、さらなる受診率向上対策が必要です。らづBodyの認知度は5.5%、らづFitの認知度は10.3%と低く、まずは認知度を上げる必要があります。				

様式1 第5次木更津市男女共同参画計画 事業評価表 令和5年度

連番	66	施策体系	基本目標Ⅱ- 主要課題6 - 施策2	課名	健康推進課
事業名	2-6-2 ②女性特有の病気予防の推進、健康に関する各種講座等の周知				
事業概要	乳がん・子宮がん予防のための検診や子宮頸がん予防ワクチンについての啓発を行なうことにより、がんの早期発見や予防に努めます。				
R6年度 実施計画	乳がん、子宮がん検診受診率向上対策として、がん検診受診勧奨の個別通知を実施するほか、受診希望者の多い「乳がん検診(エコー検査)」の日程を増やすなどの対策を行います。また、検診時において乳がん自己検診法の周知を行います。				
	評価	評価基準			
	A [80%以上]	乳がん検診受診率7.9%			
	B+[60-79%]	乳がん検診受診率7.7%			
	B [40-59%]	乳がん検診受診率7.5%			
	B-[30-39%]	乳がん検診受診率7.3%			
	C [30%未満]	乳がん検診受診率7.1%			
R5年度 実施計画	がん検診受診勧奨の個別通知を実施します。また、受診しやすい環境を提供するため、乳がんと子宮頸がん検診同時実施を4回行ないます。単独実施では、子宮がん検診の集団検診2回及び個別検診を毎年実施、乳がん検診の集団検診21回、40～42、44、46、48歳には個別検診を実施します。また、検診時には乳がん自己検診法の周知を行います。子宮頸がん予防ワクチンによる感染予防について、令和5年度から9価HPVワクチンの定期接種化に伴い個別通知を実施し、併せて広報紙やホームページ、検診等での周知を図ります。				
R5年度 取組結果 及び成果	乳がん、子宮がん頸がん検診の無料クーポンの配布や検診対象年齢のうち20歳以上の5歳刻みの女性に受診勧奨通知の送付、子宮頸がん検診を医療機関で2年連続受診している方には予め受診券を送付し、申込の手間を省くなどの利便性を考慮しました。がん検診を受診しやすい環境整備として、申し込みの多い、子宮がんと乳がん検診を同時に受診できるレディースがん検診の日程を増やし、受診率は乳がん検診が7.7%、子宮頸がん検診は9.0%と、令和4年度よりも向上しました。子宮頸がん予防ワクチンによる感染予防について、定期接種の対象者へ個別通知を実施し、併せて広報紙やホームページ、検診等での周知を図りました。接種者数は、令和4年度が1,416人、令和5年度は1,734人で318人増加しました。				
R5年度 実施結果	評価	評価基準			
	A [80%以上]	-			
	B+[60-79%]	-			
	B [40-59%]	-			
	B-[30-39%]	-			
	C [30%未満]	-			
	実施なし	-			
R5年度 1次評価	B	R5年度 2次評価	B	R5年度 最終評価	B
R5年度 課題や 改善点	がん検診受診率は令和4年度より上回ったものの、依然として県内では低い状況であることから、さらなる対策が必要です。				

様式1 第5次木更津市男女共同参画計画 事業評価表 令和5年度

連番	67	施策体系	基本目標Ⅱ- 主要課題7 - 施策1	課名	危機管理課
事業名	2-7-1 ①女性の視点を取り入れた避難所等の運営				
事業概要	避難所における女性等への配慮等を盛り込んだ避難所運営マニュアルの作成を支援します。				
R6年度 実施計画	地域の実情と女性への配慮も考慮した避難所運営を行うため、女性を含む公民館や地域住民（自治会、自主防災組織、民生委員、地区社会福祉協議会及びまちづくり協議会等）が一体となって避難所運営マニュアルの作成を支援します。また、地域が主催する訓練等で避難所運営マニュアル作成の一助となるよう、他の事例を紹介する等実施します。				
	評価	評価基準			
	A [80%以上]	避難所運営マニュアルを新たに4件作成します。			
	B+[60-79%]	避難所運営マニュアルを新たに3件作成します。			
	B [40-59%]	避難所運営マニュアルを新たに2件作成します。			
	B-[30-39%]	避難所運営マニュアルを新たに1件作成します。			
	C [30%未満]	避難所別の避難所運営マニュアルの作成に向け、各まちづくり協議会等と意見交換を行います。			
R5年度 実施計画	地域の実情と女性への配慮も考慮した避難所運営を行うため、女性を含む公民館や地域住民（自治会、自主防災組織、民生委員、地区社会福祉協議会及びまちづくり協議会等）が一体となって避難所運営マニュアルの作成を支援します。また、地域が主催する訓練等で避難所運営マニュアル作成の一助となるよう、他の事例を紹介する等実施します。				
R5年度 取組結果 及び成果	避難所別の避難所運営マニュアルの作成に向け、各まちづくり協議会等と協議しましたが、避難所マニュアルの策定には至りませんでした。				
R5年度 実施結果	評価	評価基準			
	A [80%以上]	-			
	B+[60-79%]	-			
	B [40-59%]	-			
	B-[30-39%]	-			
	C [30%未満]	-			
	実施なし	-			
R5年度 1次評価	C	R5年度 2次評価	C	R5年度 最終評価	C
R5年度 課題や 改善点	災害発生時にスムーズな避難所運営が可能なよう、今後も地域主体の避難所運営マニュアルの作成支援に努めます。				

様式1 第5次木更津市男女共同参画計画 事業評価表 令和5年度

連番	73	施策体系	基本目標Ⅲ- 主要課題8 - 施策1	課名	職員課
事業名	3-8-1 ②男女共同参画に関するセミナーや研修の開催				
事業概要	施策担当部署と連携し、市職員に対する研修会の開催を検討します。				
R6年度 実施計画	今後も施策担当部署と連携し、より充実した職員研修等を実施します。				
	評価	評価基準			
	A [80%以上]	庁内研修の実施 研修アンケートの評価にて判定 (理解度80%以上)			
	B+[60-79%]	庁内研修の実施 研修アンケートの評価にて判定 (理解度60%以上)			
	B [40-59%]	庁内研修の実施 研修アンケートの評価にて判定 (理解度40%以上)			
	B-[30-39%]	庁内研修の実施 研修アンケートの評価にて判定 (理解度20%以上)			
	C [30%未満]	庁内研修の未実施			
R5年度 実施計画	今後も施策担当部署と連携し、より充実した職員研修等を実施します。				
R5年度 取組結果 及び成果	取り組みなし				
R5年度 実施結果	評価	評価基準			
	A [80%以上]	-			
	B+[60-79%]	-			
	B [40-59%]	-			
	B-[30-39%]	-			
	C [30%未満]	-			
実施なし	-				
R5年度 1次評価	実施なし	R5年度 2次評価	実施なし	R5年度 最終評価	実施なし
R5年度 課題や 改善点	施策担当部署と連携し、市職員に対する研修会の開催を検討します。				

様式1 第5次木更津市男女共同参画計画 事業評価表 令和5年度

連番	76	施策体系	基本目標Ⅲ- 主要課題8 - 施策2	課名	地域共生推進課
事業名	3-8-2 ③各種団体等のあり方や名称の見直しの検討				
事業概要	ジェンダーの視点から各種団体のあり方や名称などをチェックし、必要に応じて見直しを行うことを検討します。また、全国の事例などを調査し、庁内各課へ情報提供を行います。				
R6年度 実施計画	ジェンダーの視点から各種団体のあり方や名称などをチェックするため、庁内照会を行います。また、必要に応じて見直しを行うことを検討します。				
	評価	評価基準			
	A [80%以上]	庁内照会を1回実施し、結果をもとに見直しの有無を判断します。			
	B+[60-79%]	庁内照会を1回実施し、結果をもとに見直しを検討します。			
	B [40-59%]	庁内照会を1回実施し、結果のとりまとめを行います。			
	B-[30-39%]	庁内照会を1回実施します。			
	C [30%未満]	庁内照会未実施。			
R5年度 実施計画	ジェンダーの視点から各種団体のあり方や名称などをチェックし、必要に応じて見直しを行うことを検討します。また、全国の事例などを調査し、庁内各課へ情報提供を行います。				
R5年度 取組結果 及び成果	ジェンダーの視点から各種団体のあり方や名称などをチェックし、必要に応じて見直しを行うことを検討しました。				
R5年度 実施結果	評価	評価基準			
	A [80%以上]	-			
	B+[60-79%]	-			
	B [40-59%]	-			
	B-[30-39%]	-			
	C [30%未満]	-			
実施なし	-				
R5年度 1次評価	C	R5年度 2次評価	C	R5年度 最終評価	C
R5年度 課題や 改善点	どういったかたちで庁内照会を行うべきか判断に迷い、令和5年度は実施することができませんでした。令和6年度は、ロゴフォームによるアンケートなども含めた照会方法を検討した上で実施する予定です。				

様式1 第5次木更津市男女共同参画計画 事業評価表 令和5年度

連番	78	施策体系	基本目標Ⅲ- 主要課題9 - 施策1	課名	学校教育課
事業名	3-9-1 ①教職員や保育士に対する研修や学習機会の提供				
事業概要	夏季休業期間を利用した、特別支援、道徳、教育相談等の研修を開催します。校内研修や児童生徒への講演など、学校からの要請に応じた指導主事の派遣を行います。				
R6年度 実施計画	夏季休業期間を利用した、特別支援、道徳、教育相談等の研修を開催します。特に特別支援においては、学校が現在直面している課題と直結する部分が多いため、校内研修や児童生徒への講演などに加え、巡回相談などを通して、学校からの要請に応じた指導主事の派遣を行います。また、講座内容については、教育の場、人権に関する正しい理解と認識をさらに広げることができる、教職員の指導力と資質の向上に努めます。				
	評価	評価基準			
	A [80%以上]	夏季教職員研修の延べ参加者数 480名以上			
	B+[60-79%]	夏季教職員研修の延べ参加者数 360名以上			
	B [40-59%]	夏季教職員研修の延べ参加者数 240名以上			
	B-[30-39%]	夏季教職員研修の延べ参加者数 180名以上			
	C [30%未満]	夏季教職員研修の延べ参加者数 180名未満			
R5年度 実施計画	夏季休業期間を利用した、特別支援、道徳、教育相談等の研修を開催します。特に特別支援においては、学校が現在直面している課題と直結する部分が多いため、校内研修や児童生徒への講演などに加え、巡回相談などを通して、学校からの要請に応じた指導主事の派遣を行います。				
R5年度 取組結果 及び成果	夏季休業期間を利用した研修は、計画通りに30講座を開催することができました。478名の教職員が受講することで、教育の場における人権に関する正しい理解と認識の啓発、教職員の指導力と資質の向上にもつなげることができました。				
R5年度 実施結果	評価	評価基準			
	A [80%以上]	-			
	B+[60-79%]	-			
	B [40-59%]	-			
	B-[30-39%]	-			
	C [30%未満]	-			
	実施なし	-			
R5年度 1次評価	B	R5年度 2次評価	A	R5年度 最終評価	A
R5年度 課題や 改善点	課題としては、幅広い研修内容と講師の確保が挙げられるため、教職員の研修へのニーズを的確に把握し、即座に講座として提供するための取り組みをさらに進めていきます。				

様式1 第5次木更津市男女共同参画計画 事業評価表 令和5年度

連番	80	施策体系	基本目標Ⅲ- 主要課題9 - 施策1	課名	こども保育課
事業名	3-9-1 ②保育園における男女共同参画教育の推進				
事業概要	保育園は、乳幼児対象の施設なので、成長過程で性別の違いは認識するものの、生活面、活動面において、男女の区別なく、すべての園児が平等に、様々な体験を通し成長できるよう働きかけます。				
R6年度 実施計画	保育園生活においては、男女の区別なく、誰もが平等に日々の活動に参加し、様々な経験を通した成長を促します。				
	評価	評価基準			
	A [80%以上]	園のイベントなどの行事を通じて、男女の区別なくすべての園児が平等に成長できるよう働きかけを年間12回以上行う。			
	B+[60-79%]	園のイベントなどの行事を通じて、男女の区別なくすべての園児が平等に成長できるよう働きかけを年間9回以上行う。			
	B [40-59%]	園のイベントなどの行事を通じて、男女の区別なくすべての園児が平等に成長できるよう働きかけを年間6回以上行う。			
	B-[30-39%]	園のイベントなどの行事を通じて、男女の区別なくすべての園児が平等に成長できるよう働きかけを年間3回以上行う。			
R5年度 実施計画	保育園生活においては、男女の区別無く、誰もが平等に日々の活動に参加し、様々な経験を通した成長を促します。				
R5年度 取組結果 及び成果	保育園は乳幼児対象の施設なので、成長過程で性別の違いは認識するものの、クッキングや運動教室などの行事を通じて、男女の区別なくすべての園児が平等に成長できるよう働きかけました。				
R5年度 実施結果	評価	評価基準			
	A [80%以上]	-			
	B+[60-79%]	-			
	B [40-59%]	-			
	B-[30-39%]	-			
	C [30%未満]	-			
	実施なし	-			
R5年度 1次評価	B	R5年度 2次評価	B	R5年度 最終評価	B
R5年度 課題や 改善点	特にありません。				

様式1 第5次木更津市男女共同参画計画 事業評価表 令和5年度

連番	81	施策体系	基本目標Ⅲ- 主要課題9 - 施策1	課名	生涯学習課
事業名	3-9-1 ③男女共同参画の視点に立った講座等の開催				
事業概要	公民館と連携し、公民館で開催されている学習プログラムを開発するとともに、既存の学級講座を見直し、男女共同参画に関するテーマを積極的に取り入れます。各公民館等社会教育施設で開催する各種学級・講座の保育活動を実施し、子育て中の保護者が安心して学ぶことができる環境を整えます。				
R6年度 実施計画	各公民館等社会教育施設において、保育の充実等年齢・性別関係なく参加できるような環境の整備に努めるとともに、学習内容についても「性別による無意識の思い込み」がないよう配慮することを求めます。				
	評価	評価基準			
	A [80%以上]	各公民館等社会教育施設で実施する事業において、性別関係なく参加できる事業の実施を行うほか、必要に応じて保育の実施を行う。			
	B+[60-79%]	各公民館等社会教育施設で実施する事業において、性別関係なく参加できる事業の実施を行うが、必要な保育が実施できない。			
	B [40-59%]	各公民館等社会教育施設で実施する事業において、性別関係なく参加できる事業の実施がないが、必要な保育の実施を行う。			
	B-[30-39%]	各公民館等社会教育施設で実施する事業において、性別関係なく参加できる事業の実施がなく、必要な保育も実施できない。			
R5年度 実施計画	各公民館等社会教育施設に、性別関係なく参加できるような環境の整備に努めるとともに、学習内容についても「性別による無意識の思い込み」がないよう配慮することを求めます。				
R5年度 取組結果 及び成果	家庭教育学級担当者会議で、保育ボランティアグループ「こあらの会」が利用機関への説明を行う機会を設け、事業・イベントを開催する際に子育て世代も性別に関係なく参加しやすいように配慮をするよう周知しました。				
R5年度 実施結果	評価	評価基準			
	A [80%以上]	-			
	B+[60-79%]	-			
	B [40-59%]	-			
	B-[30-39%]	-			
	C [30%未満]	-			
	実施なし	-			
R5年度 1次評価	B	R5年度 2次評価	B	R5年度 最終評価	B
R5年度 課題や 改善点	各公民館において、性別関係なく実施できる事業を設けはしましたが、男女の参加比率に若干の偏りがあったため、より市民の方への周知を図りながら、参加比率の偏りが少なくなるように努めます。				

様式1 第5次木更津市男女共同参画計画 事業評価表 令和5年度

連番	82	施策体系	基本目標Ⅲ- 主要課題9 - 施策1	課名	公民館
事業名	3-9-1 ③男女共同参画の視点に立った講座等の開催				
事業概要	男女共同参画の視点に立った家庭教育学級・講座を開催します。				
R6年度 実施計画	各公民館で男女共同参画の視点に立った家庭教育学級・講座等を開催します。また、多様性についても考えていきます。				
	評価	評価基準			
	A [80%以上]	男女共同参画の視点に立った家庭教育学級・講座等開催	対象公民館の8割以上		
	B+[60-79%]	男女共同参画の視点に立った家庭教育学級・講座等開催	対象公民館の6割以上		
	B [40-59%]	男女共同参画の視点に立った家庭教育学級・講座等開催	対象公民館の4割以上		
	B-[30-39%]	男女共同参画の視点に立った家庭教育学級・講座等開催	対象公民館の3割以上		
	C [30%未満]	男女共同参画の視点に立った家庭教育学級・講座等開催	対象公民館の3割未満		
R5年度 実施計画	各公民館で男女共同参画の視点に立った家庭教育学級・講座等を開催します。また、多様性についても考えていきます。				
R5年度 取組結果 及び成果	家庭教育学級、講座等は対象館で開催しました。参加者からは「それぞれの家庭の悩み、相談などを意見交換できる良い機会になりました。」との感想をいただきました。				
R5年度 実施結果	評価	評価基準			
	A [80%以上]	-			
	B+[60-79%]	-			
	B [40-59%]	-			
	B-[30-39%]	-			
	C [30%未満]	-			
	実施なし	-			
R5年度 1次評価	B	R5年度 2次評価	B	R5年度 最終評価	B
R5年度 課題や 改善点	子育て学習会の参加対象は両親としましたが、母親の参加のみとなりました。今後は父親の参加も呼び込めるような事業開催を模索していきます。				

様式1 第5次木更津市男女共同参画計画 事業評価表 令和5年度

連番	83	施策体系	基本目標Ⅲ- 主要課題9 - 施策1	課名	生涯学習課
事業名	3-9-1 ④家庭や地域における男女共同参画教育の推進				
事業概要	市内各家庭教育学級において、運営組織の充実を図るため学級のリーダー養成に努めるとともに、運営スタッフの研修活動を充実させます。子育て支援の充実を目指し、子育ての悩みや疑問の解決を図るため、家庭教育のあり方について、広報等の啓発活動を推進します。				
R6年度 実施計画	家庭教育学級の担当者、学級生を対象とした研修を積極的に開催し、内容の充実に努めます。また、より家庭教育を推進するため、家庭教育に関する団体・機関が一堂に会して協議できる場の設定するよう、家庭教育推進協議会の見直しを図ります。				
	評価	評価基準			
	A [80%以上]	家庭教育学級研究集会 参加者20名以上			
	B+[60-79%]	家庭教育学級研究集会 参加者18名以上			
	B [40-59%]	家庭教育学級研究集会 参加者16名以上			
	B-[30-39%]	家庭教育学級研究集会 参加者14名以上			
	C [30%未満]	家庭教育学級研究集会 参加者14名未満			
R5年度 実施計画	家庭教育学級の担当者、学級生を対象とした研修を積極的に開催し、内容の充実に努めます。また、家庭教育の推進のため、家庭教育に関する団体・機関が一堂に会して協議できる場の設定に努め、共通認識を深められるよう努めます。				
R5年度 取組結果 及び成果	家庭教育担当者会議及び家庭教育学級研究集会を開催し、各公民館の担当者と公民館で実施する家庭教育学級の内容、課題等について協議を行うとともに、家庭教育学級の充実のため講師をよび研修を行いました。				
R5年度 実施結果	評価	評価基準			
	A [80%以上]	-			
	B+[60-79%]	-			
	B [40-59%]	-			
	B-[30-39%]	-			
	C [30%未満]	-			
	実施なし	-			
R5年度 1次評価	B	R5年度 2次評価	B	R5年度 最終評価	B
R5年度 課題や 改善点	参加者数が横ばい傾向にあるため、より参加者のニーズに沿った事業展開を行いたいと考えています。				

様式1 第5次木更津市男女共同参画計画 事業評価表 令和5年度

連番	84	施策体系	基本目標Ⅲ- 主要課題9 - 施策1	課名	子育て支援課
事業名	3-9-1 ④家庭や地域における男女共同参画教育の推進				
事業概要	家庭相談の場で家庭での育児において男女共同参画の視点をもてるよう助言を行います。				
R6年度 実施計画	家庭相談の場で家庭での育児において男女共同参画の視点をもてるよう助言を行います。				
	評価	評価基準			
	A [80%以上]	男女共同参画の視点の認識が80%以上			
	B+[60-79%]	男女共同参画の視点の認識が60%以上			
	B [40-59%]	男女共同参画の視点の認識が40%以上			
	B-[30-39%]	男女共同参画の視点の認識が30%以上			
	C [30%未満]	男女共同参画の視点の認識が30%未満			
R5年度 実施計画	家庭相談の場で家庭での育児において男女共同参画の視点をもてるよう助言を行います。				
R5年度 取組結果 及び成果	窓口や電話などでの育児相談において男女共同参画の視点での助言を行いました。適宜、就労や保育、家事援助サービスなどを紹介し、育児へのサポートを行いました。				
R5年度 実施結果	評価	評価基準			
	A [80%以上]	-			
	B+[60-79%]	-			
	B [40-59%]	-			
	B-[30-39%]	-			
	C [30%未満]	-			
	実施なし	-			
R5年度 1次評価	B	R5年度 2次評価	B	R5年度 最終評価	B
R5年度 課題や 改善点	今後も、家庭相談の場で家庭での育児において男女共同参画の視点を持てるよう助言を行うとともに、相談内容に応じて適切な助言ができるよう、助言の内容について職員間で情報共有を図ります。				

様式1 第5次木更津市男女共同参画計画 事業評価表 令和5年度

連番	85	施策体系	基本目標Ⅲ- 主要課題9 - 施策1	課名	学校教育課
事業名	3-9-1 ④家庭や地域における男女共同参画教育の推進				
事業概要	全教育活動を通じた男女共同参画に関する教育の実施について、保護者及び地域に理解を得るとともに、男女共同参画を図ります。				
R6年度 実施計画	教育現場における、PTA役員、学校評議員、学校支援ボランティア等の活動を通して、男女共同参画の機会の促進を図ります。また、各学校でのボランティア活動等を、学校ホームページや広報紙、動画配信サービス等を利用し、保護者及び地域へ啓発拡大に努めます。				
	評価	評価基準			
	A [80%以上]	コミュニティ・スクール導入件数 6校以上			
	B+[60-79%]	コミュニティ・スクール導入件数 4校以上			
	B [40-59%]	コミュニティ・スクール導入件数 3校以上			
	B-[30-39%]	コミュニティ・スクール導入件数 2校以上			
	C [30%未満]	コミュニティ・スクール導入件数 2校未満			
R5年度 実施計画	教育活動に関する広報活動のさらなる推進を通じ、地域に開かれた学校づくりに努めます。教育活動に地域および保護者の協力を求め、同時に地域作りに学校が積極的に参加するなかで、男女共同参画を図ります。				
R5年度 取組結果 及び成果	PTA役員、学校評議員、学校支援ボランティア等の活動における男女共同参画は一定の成果をあげることができました。また、情報発信による啓発活動も、学校ホームページを中心に定着しつつあります。				
R5年度 実施結果	評価	評価基準			
	A [80%以上]	-			
	B+[60-79%]	-			
	B [40-59%]	-			
	B-[30-39%]	-			
	C [30%未満]	-			
	実施なし	-			
R5年度 1次評価	B	R5年度 2次評価	B	R5年度 最終評価	B
R5年度 課題や 改善点	男女共同参画の新たな機会の創出に努めるとともに、情報発信をする側のさらなる意識の向上に取り組まします。				

様式1 第5次木更津市男女共同参画計画 事業評価表 令和5年度

連番	88	施策体系	基本目標IV- 主要課題10 - 施策2	課名	職員課
事業名	4-10-2 ①男女共同参画施策担当部署との連携、庁内研修の実施				
事業概要	施策担当部署と連携した事業(職員研修等)を推進します。				
R6年度 実施計画	今後も施策担当部署と連携し、より充実した職員研修等を実施し、市職員に対する男女共同参画の周知・啓発を図ります。				
	評価	評価基準			
	A [80%以上]	庁内研修の実施 研修アンケートの評価にて判定(理解度80%以上)			
	B+[60-79%]	庁内研修の実施 研修アンケートの評価にて判定(理解度60%以上)			
	B [40-59%]	庁内研修の実施 研修アンケートの評価にて判定(理解度40%以上)			
	B-[30-39%]	庁内研修の実施 研修アンケートの評価にて判定(理解度40%未満)			
	C [30%未満]	庁内研修の未実施			
R5年度 実施計画	今後も施策担当部署と連携し、より充実した職員研修等を実施し、市職員に対する男女共同参画の周知・啓発を図ります。				
R5年度 取組結果 及び成果	実施なし。				
R5年度 実施結果	評価	評価基準			
	A [80%以上]	-			
	B+[60-79%]	-			
	B [40-59%]	-			
	B-[30-39%]	-			
	C [30%未満]	-			
実施なし	-				
R5年度 1次評価	実施なし	R5年度 2次評価	実施なし	R5年度 最終評価	実施なし
R5年度 課題や 改善点	施策担当部署と連携した事業(職員研修等)を検討し開催等を目指します。				